

薬学部 臨床薬学科 カリキュラム・マップ 2024

凡例 科目区分 基幹教育必修 学部必修 学部選択 卒業・進級判定に含めないが、履修することを推奨する
(再掲は薄色表示)

[illegible]

薬学部 臨床薬学科博士課程 カリキュラム・マップ

凡例

科目区分（再掲
は薄色表示）

博士課程
必修科目

博士課程
選択科目

学年		D1		D2		D3		D4		
学修目標		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	最終試験
		先端医療薬学研究実験		先端医療薬学研究実験		先端医療薬学研究実験		先端医療薬学研究実験		
		先端医療薬学研究演習Ⅰ		先端医療薬学研究演習Ⅱ		先端医療薬学研究演習Ⅲ				
知識・理解の 実践的場面での活用（実践）	E-3. 臨床や創薬の現場における共同研究に参画できる技能・態度を身につけている。	創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習		
	E-2. 深い知識・感性や高い倫理観を持ち、臨床薬学研究を実践できる。	創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習		
	E-1. 薬学の専門家として、医療・創薬の現場で活躍できる能力を持っている。	創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習		
新しい知見の 創出（評価・創造）	D-2. 自ら主体的に臨床薬学研究を遂行できる。	創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習		
	D-1. 臨床と創薬の融合を意識して、研究を立案・実施することができる。	創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習 腫瘍治療学実習		創薬・臨床コラボ実習		
知識・理解の 応用（適用・分析）	C-3. 自らの研究成果に関する論文投稿のノウハウを理解している。			創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		
	C-2. 指導的な立場で活躍できるよう、的確で総合的な判断力と課題を探索する能力を応用できる。	創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		
	C-1. 自ら持っている薬学的知識を生かし国際的に活躍できる。	創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		創薬・臨床コラボ実習		
知識・理解の 習得（知識・理解）	B-2. 臨床薬学の立場から、創薬研究の研究理論および技術を理解することができる。	腫瘍治療学Ⅰ 大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目	腫瘍治療学Ⅱ 大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目	学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目		学府横断型科目 大学院共通教育科目 修士課程における未受講科目				
	B-1. 生体の調節機構や疾病に対して、化学系薬学、物理系薬学、生物系薬学および医療系薬学に裏打ちされた知識を持っている。	腫瘍治療学Ⅰ 大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目	腫瘍治療学Ⅱ 大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目	腫瘍治療学実習		腫瘍治療学実習				
主体的な学び・協働	A-3. 現象や技術情報を明確に記述する文章力と、自分の考えを明確に述べる表現力を備えている。	臨床研究演習 大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目	臨床試験演習 大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目	大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目		大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目				
	A-2. 高度なプレゼンテーション能力を持ち、積極的に討論できる。	臨床研究演習								
	A-1. 自ら進んで幅広い分野に対する理解力を持ち、国際的発信力・学際的発信力を備えている。	大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目		大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目		大学院共通教育科目 薬学部（修士課程）開講科目				